

### いちばんづくり課 山を舞台に新たな出会い アウトドアで縁結び

「出会いイベント」の第4弾となる「アウトドアで縁結び」を11月12日、ひろしま県民の森をメイン会場に開催し、30〜40代の男女合わせて18人が参加しました。

参加者はまず、市役所からバスに乗り込み、西城町熊野にある熊野神社へ向け出発。神社そばにある熊野農産物加工施設「イザナミ茶屋」で比婆山にまつわる紙芝居を鑑賞し、温かいお茶とお菓子を味わった後、熊野神社を参拝しました。

その後、ひろしま県民の森へ移動し、参加者全員で昼食作りをチャレンジ。班に分かれ、アヒージョと鮭のホイル焼きを作りました。そのほかにも笹茶や貝だくさんの味噌汁など、アウトドアならではの料理を楽しめました。

お腹を満たした後は、メインイベントの山登りを開始。気持ちの良い秋晴れの中、見頃を迎えた紅葉と会話を楽しみながら、目的地の展望園地へ約40分かけて到着。そこから望む山並みは絶景で、参加者は達成感に浸っていました。

このイベントを通じて3組のカップルが誕生しました。しようばら縁結び事業では随時、会員を募集しています。詳しくは、しようばら縁結びホームページをご覧ください。庄原市総合サービス株式会社（☎0824・75・0600）まで。



テーブルを開み昼食を楽しむ 熊野神社で縁結び祈願



展望園地から山並みを望む

### いちばんづくり課 県北暮らしの魅力をもPR 三次・庄原合同定住フェア

庄原市と三次市が主催する「三次・庄原合同定住フェア」を10月22日、広島市安佐南区のイオンモール広島祇園で開催しました。

来場者の移住相談や空き家相談を受けたほか、庄原・三次への移住に関する意向調査を実施。回答者へは両市産の新米をプレゼントしました。

会場には両市のキャラクターであるヒバゴン（庄原市）と、きりこちゃん（三次市）も登場。また、子ども体験コーナーとして、両市のキャラクターをあしらったアイロンビーズマグネットづくりを実施しました。家族連れなど約450人の来場者に県北をPRし、大盛況のうちに終了しました。



会場は多くの家族連れなどでにぎわった

### 生涯学習課 アスリートに学ぶバレーボール 庄原市レベルアップスポーツ教室（バレーボール）

10月22日、今回で9回目となる、庄原市レベルアップスポーツ教室バレーボール教室を庄原市総合体育館で開催し、市内の小学生60人が参加しました。

講師にマツダ女子バレーボール部の皆さんを招き、参加者は楽しい雰囲気の中にも、真剣にバスやレシーブの基本技術などを学びました。

参加した荒木美侑さん（板橋小4年）は「マツダ（女子バレーボール部）の皆さんに1年ぶりに会えてうれしかったです。できなかつたことができた。来年もまた参加したいです」と話していました。



楽しく真剣に指導を受ける

### 高齢者福祉課 市長が長寿者を表敬訪問 100歳以上の方に敬老祝金を贈呈

木山耕三市長が、10月、長寿を祝福し敬老の意を表するため、市内の百歳以上の長寿者を訪問し、敬老祝金を手渡しました。あわせて、本年度中に満百歳を迎える方（基準日/9月15日の「老人の日」）に贈られる内閣総理大臣からのお祝い状と記念品の銀杯を手渡しました。

本年度の敬老祝金贈呈対象者（大正6年3月31日以前に生まれた方）は77人（男性9人・女性68人）、市内最高齢者は女性が満106歳の方となっています。



100歳のお祝い状を受け取る村田マサノさん（東城町）

### 危機管理課 地域防災力向上を目指す 平成28年度庄原市総合防災訓練

市と市消防団ならびに備北地区消防組合の主催により、11月20日、東城中央運動公園周辺一帯で、平成28年度庄原市総合防災訓練を実施し、官公署をはじめとする6団体、約200人が参加しました。

訓練は、記録的集中豪雨により、市内各地で多数被害が発生しているという想定で行われ、避難訓練をはじめ、建物火災防ぎよ訓練、負傷者搬送訓練、非常食炊き出し訓練など全10種目の訓練を実施しました。

訓練終了後の講評で、備北地区消防組合庄原消防署の熊野美博署長は「災害は規模が大きくなるほど、救助や支援の遅れが想定される。各機関で連携を密にして備えたい」と話しました。



救助訓練の様子

### 教育指導課 読書の魅力発信！言葉の力に感動 庄原市教育フォーラム

10月29日、「読書活動」をテーマに庄原市民会館で教育フォーラムを開催し、約600人が参加しました。

まず、高小全校児童児童が「古典の名文暗唱」を披露し、日本の古き良き美しい言葉や伝統ある作品などの名文を、言葉を大切にしながら胸を張って発表しました。

続いて、市内7つの中学校からそれぞれ1人の生徒が出演し「書評合戦（ビブリオバトル）」を行いました。これは、互いのお気に入りの本を紹介し合うもので、読書の楽しさや魅力、本や言葉の素晴らしさなどについて、5分の持ち時間が目いっぱい使い、それぞれが自分の思いを熱く語りました。小・中学生が堂々と自分の思いを表現する姿に会場から大きな拍手が送られ、来場者も「一番読みたくなった本」に投票しました。

最後に、フリーアナウンサーの神田康秋さんが「どっこい神田の読書人生 夢を学ばば夢が叶う」と題して、読書から学んだ生き方や、夢に向かってあきらめず行動することの大切さなどについて、アナウンス実況も交えながら、笑いあり涙ありの講演をしました。

また、ロビーでは、読書活動を推進する子どもリーダーを育てる「子ども司書」養成講座の活動紹介、作品展示を行いました。

参加者からは「読書について考えるとても良い機会になった」「中学生が紹介した本は全て読みたい」などの声が聞かれました。



高小1年生による名文暗唱「いろはうた」



中学生による書評合戦（ビブリオバトル）



「子ども司書」養成講座作品展示

商工  
観光課

### 台湾で初プロモーション

外国人観光客の誘致を目指す

11月6日〜7日は、30万人以上が来場した国際旅行博で、庄原市をはじめ山陰山陽の観光チラシなどを配布し、本市観光の魅力をもPRしました。また、8日〜9日は、県観光課と一緒に台北市内の大手旅行会社9社を訪問し、本市の観光スポットなどを紹介しながら誘客を依頼しました。

参加した庄原市観光協会の坂田忠則専務は「台湾旅行者は4泊5日で山陰山陽のA級観光地をめぐるコースが多い。旅の中継拠点として、本市の観光スポットへの立ち寄りや宿泊も検討する旅行会社もあり、大いにチャンスがある」と手応えを感じていました。



本市観光の魅力をもPR

生涯  
学習課

### フットサルの基本技術を学ぶ

庄原市レベルアップスポーツ教室（フットサル）

秋晴れの11月13日、恒例となった庄原市レベルアップスポーツ教室フットサル教室を、かんぼの郷庄原フットサルコートで開催し、市内の小学生26人が参加しました。

講師にミズノフットサルクラブの山上肇さんら3人を迎え、参加者は蹴り方やドリブルなどの基本動作の練習やミニゲームを行うなど爽やかな汗を流していました。

参加した松島優笑くん（板橋小3年）は、「先生から優しく蹴り方を教わったり、友達ができたりして楽しかった。これからもいろいろなことにチャレンジしたいです」と話していました。



秋空のもとコートを駆ける

生涯  
学習課

### グラウンド・ゴルフで健康づくり

第11回庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会



交流しながら勝負を楽しんだ

秋が深まる10月22日、庄原市田総の里スポーツ公園で、第11回庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会を開催し、市内各地域の予選を勝ち抜いた30チーム150人が参加しました。

参加者は所属チームの枠を越えたグループに分かれてプレーし、ホールインワンが多数出るなど日頃の練習の成果を発揮して熱い戦いを繰り広げました。

真剣勝負の中にも、多くの交流が生まれるなど、参加者は自然を満喫しながら健やかな時間を過ごしていました。

大会の成績は下の表の通りです。

女性の部						
優勝	準優勝	3位	4位	5位	6位	7位
西城女性B	東城女性C	東城女性A	庄原女性D	東城女性B	総領女性	東城女性C
下田 春美	花田 弘子	吉原みえ子	倉谷利美子	井上ミヨコ	中川 種子	関 キクエ

男性の部						
優勝	準優勝	3位	4位	5位	6位	7位
山脇 孝三	咽原 宏行	下川 卓二	佐々木 満	宮野 清志	道上 俊治	曾根 清馬
庄原男性D	東城男性B	東城男性A	口和男性	西城男性A	庄原男性A	

個人戦

女性の部		
優勝	準優勝	3位
東城女性C	庄原女性A	東城女性B
杉 ヨシコ・遠藤 良子	花田 弘子・関 キクエ	大橋 啓子
渡辺 照子・船頭ムツコ	小林 節子・市川 千枝	永宗 愛子
小塩 麗子・橋根 公子	井上ミヨコ・村上 秀子	国原 幾子

男性の部		
優勝	準優勝	3位
庄原男性D	東城男性A	高野 男性
定宗 静磨・山脇 孝三	岩田 七郎・高橋 照二	和正 正敬・谷繁 一夫
永宗 喜伴・堀川 春美	咽原 宏行	白根 憲三・奥山 敏和
土居 武司・藤原 明登	佐々木 満	藤原 公昭

団体戦